



# のびのび若っ子

## ぼくはひとりしかいない

校長 池田 千穂

先日、私は、若葉台に打ち上げられた美しい花火を見て感激いたしました。花火は夏の風物詩とは言いますが、寒空の花火もとても綺麗でした。そして、若葉台地域の皆さんが、花火を見ている姿にも感激しました。地域の一体感を感じました。この花火に地域の皆様のご尽力と思いがこもっているのだと思いました。子ども達の歓声やうれしそうな顔がたくさん見られました。本校の子ども達が地域の中で地域の皆様に大切にさせていただいていると感じました。花火大会の開催、ありがとうございました。



コロナ禍で地域との交流活動を自粛しておりましたが、今年度は感染状況をふまえて少しずつ行っています。学びの充実のためのリソースは「時間、人材、財源」と言われています。その中の人材、なかでも地域人材に、本校は大変に恵まれていると思います。今年度もたくさんの方が子ども達の学びに力を貸してくださいました。本校職員玄関に紹介の写真を掲示しておりますので、機会がありましたら、ご覧ください。

さて、12月1日から9日は人権週間です。かつて横浜では中学生による衝撃的な事件があり、社会にショックをあたえました。教育現場も大変な衝撃を受けました。その経緯もあり横浜はずっと以前から人権教育に力を入れています。一口に人権と言っても様々な要素があり、私たちは私たち自身が視点と視野を広げて、子ども達に教えていかなければならないと日々考えています。自分の生活環境にはいない、いないと思っている人や状況があることに気付いていかなければならないと思います。「全ての人が生まれながらに持っている権利」ということを繰り返し子ども達に投げかけていかないといけないでしょう。そのもっとも根本にあるのは「自分を大切にする」ということだと思います。まさに本校の教育目標だと考えます。

ヨシタケシンスケさんの「ぼくのニセモノをつくるには」にはこんなページがあります。

『ぼくはひとりしかいない おばあちゃんが いってたけど にんげんは ひとりひとり かたちのちがう 木のようなものらしい。じぶんの木の「しゅるい」は うまれつきだから えられないけど それを どうやって そだてて かざりつけするかは じぶんで きめられるんだって 木のおおきさとかは どうでもよくて じぶんの木を 気にいってるかどうかが いちばんだいじらしい。』（「ぼくのニセモノをつくるには」ブロンズ新社）

自分を大切にするために、まずは自分の木を気にいってないと。子ども達が自分を好きになれるように、私たち教職員一同、日々、子ども達を認め、言葉にして伝えていきたいと思っています。保護者様、地域の皆様、今後ともご協力をよろしくお願いいたします。

若葉台小学校学校教育目標

『自他共に大切にする心を育みます』『意欲的な学びの芽を育みます』